

第 1 回 山武地区地域協議会 次第

日 時 令和 5 年 7 月 2 6 日 (水)

午後 3 時から

場 所 城西国際大学 本部棟 8 階会議室

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 教育委員会挨拶
- 4 座長選出
- 5 議 事
 - (1) 地域協議会設置の趣旨
 - (2) 「県立高校改革推進プラン」及び「第 1 次実施プログラム」について
 - (3) 山武地区の県立高校の現状と課題
 - (4) 質疑
 - (5) その他
- 6 報告・連絡
- 7 閉 会

【資料】

- 資料 1 山武地区地域協議会 委員名簿
- 資料 2 山武地区地域協議会 設置要綱
- 資料 3 「県立高校改革推進プラン」及び「第 1 次実施プログラム」について
- 資料 4 山武地区地域協議会 基礎資料
 - 第 1 回出席者名簿
 - 第 1 回座席表

【参考】

- 1 第 3 期千葉県教育振興基本計画
 - 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン（概要版）
- 2 県立高校改革推進プラン（本冊子及び要約版）
- 3 県立高校改革推進プラン・第 1 次実施プログラム（本冊子及び要約版）
- 4 県立学校改革推進プラン・第 1 次～第 4 次実施プログラム（要約版）
- 5 公立高等学校所在図（令和 4 年 4 月）
- 6 千葉県高等学校所在図（令和 4 年 4 月）

山武地区地域協議会 委員名簿

50音順、敬称略

氏 名	所 属
新井 修二	横芝光町教育委員会 教育課教職員・指導室長
石原 信行	東金市教育委員会 学校教育課長
鵜澤 保之	大網白里市教育委員会 副参事兼学校教育室長
内山 晴夫	山武市役所 企画政策課長
大庭 青磁	芝山町教育委員会 教育課長
狩野 和敏	県立松尾高等学校 校長
川島 美雄	山武市教育委員会 教育部教育総務課長
木河 政浩	東金市立北中学校 校長
久保 崇	大網白里市役所 企画政策課副課長
倉林 眞砂斗	城西国際大学 副学長
小林 正和	大網白里市 市区長会会長
酒井 誠一	東上総教育事務所 所長
鈴木 祐輔	山武郡市PTA連絡協議会 会長
高瀬 茂利恵	山武市 総合計画審議会委員
高橋 邦夫	千葉学芸高等学校 理事長・校長
中嶋 綾子	九十九里町 九十九里高校学校運営協議会委員
中田 健彦	東金市役所 企画政策部地域振興課長
羽斗 伸一	九十九里町役場 企画政策課長
布施 直登	東金市 松之郷区長
鏝田 貴賜	九十九里町教育委員会 教育委員会事務局長

山武地区地域協議会設置要綱

(目 的)

第1条 県立高校改革推進プランを踏まえ、地域における今後の学校の在り方などについて意見を聴くため、地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

なお、協議会は、山武地区（東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、芝山町）における今後の学校の在り方などについての意見聴取を目的とするものであることから、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではない。

(構 成)

第2条 協議会は、委員15名程度で組織する。

2 委員は、原則として以下に掲げる者とする。

(1) 学識経験者

(2) 地域関係者

(3) 私学関係者

(4) 教育関係者

(5) その他千葉県教育委員会教育長（以下、「教育長」という。）が必要と認めた者

3 委員の任期は、令和6年3月31日までとする。

(運 営)

第3条 協議会に座長を置く。

2 座長は、委員の互選により定める。

3 座長は、協議会の進行を行う。

4 座長に事故あるとき、又は欠けたときは、座長が指名した者が、その職務を代理する。

5 協議会は、必要に応じて教育長が招集する。

(庶 務)

第4条 協議会に係る庶務は、千葉県教育庁企画管理部教育政策課（以下、「教育政策課」という。）が行う。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育政策課が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年6月28日から施行する。

**第1回
山武地区地域協議会**

**「県立高校改革推進プラン」及び
「第1次実施プログラム」について**

令和5年7月26日(水) 15:00～
城西国際大学


 みんなで取り組む
千葉の教育
千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

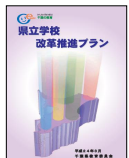
1

I これまでの高校再編について

1 再編の経緯

「県立高等学校再編計画」(平成14年11月策定) 「県立学校改革推進プラン」(平成24年3月策定)

目標年次 平成14年度～23年度 目標年次 平成24年度～令和3年度

学科設置や統合等の再編中心 コースなどの魅力づくりが中心

2

2 計画の性格

- ・ 具体計画は、**実施プログラム**により実施
- ・ 必要に応じた見直しを考慮

「県立高等学校再編計画」 「県立学校改革推進プラン」







第1期実施プログラム: H14.11策定
第2期実施プログラム: H16. 5策定
第3期実施プログラム: H18.12策定

第1次実施プログラム: H24.3策定
第2次実施プログラム: H26.3策定
第3次実施プログラム: H28.3策定
第4次実施プログラム: H30.3策定

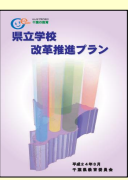
一部改訂
H30.3策定

3

3 「県立学校改革推進プラン」

実施プログラムの主な内容

- 魅力ある高等学校づくり
 - ・ 社会のニーズに対応したコースの設置
教員基礎コース(4校) **保育基礎コース**(2校)
医療・福祉系コース(8校) **工業系コース**(2校) 等
 - ・ **理数科**の設置(2校)
 - ・ **連携組織(コンソーシアム)**の設置(工業、農業)
 - ・ **総合学科**の設置(全日2校、定時1校)
 - ・ **中高一貫教育校**の設置(1校)
 - ・ **地域連携アクティブスクール**の設置(4校)
- 適正規模・適正配置
 - ・ **全日制3組統合**(125校 → 121校)
 - ・ **三部制定時制高校**の設置(1校)



4

II 「県立高校改革推進プラン」について


 令和3年6月～令和4年1月
次期プラン策定懇談会開催
 令和3年9月～10月
地域協議会を5か所で開催
 令和3年12月～1月
 パブリックコメント実施

↓

**令和4年3月
県立高校改革推進プラン策定**

今後10年間の県立高校改革に関する基本的な考え方を示す

5

1 県立高等学校の現状と課題

(1) 生徒のニーズの多様化

- 高校進学率 **98.9%**
- 経済的、社会的に **様々な困難を抱えた生徒**の増加
- **日本語指導が必要な生徒**の増加

(2) キャリア教育・職業教育の充実

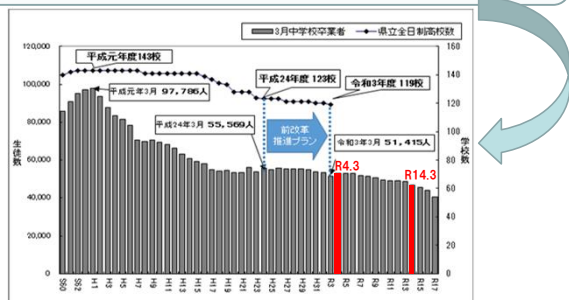
- 高校卒業後の進路内訳
 - ・ 進学…約 **74%** (大学、専門学校等)
 - ・ 就職…約 **17%** (およそ5,500人)
- **農業、工業、水産、介護、保育分野等で
さらなる担い手の育成が必要**



6

(3) 人口の減少

○中卒者数が10年後には現在より**約6,200人減少**



《本県の中学校卒業生数及び県立全日制高校校数の推移》

7

2 4つの計画実施上の重点事項

- (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革
 - ・ **スクールポリシー**を基点に推進
- (2) キャリア教育と職業教育の充実
 - ・ **高校が小・中学校のキャリア教育を支援**
→ 職業系専門学科への理解を深める
 - ・ **時代や社会が求める人材**の育成
- (3) 学校間連携
 - ・ 学校、学科の垣根を越えた連携を推進
- (4) 戦略的な広報
 - ・ **小・中学校等との連携**を視野に展開

8

3 4つの基本的コンセプト (目指すべき県立高等学校像)

- (1) 予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、**未来を切り拓く力を育む学校**
- (2) 各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、**「自信」を育む学校**
- (3) 一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで**様々な舞台で活躍できる生徒を育てる学校**
- (4) 身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、**地域とともに発展する学校**

9

4 8つの改革の方向性

- (1) 学習意欲を喚起し、**可能性や能力を最大限に伸長する学び**への転換
- (2) Society5.0※に対応した**新時代に求められる探究的な学び**の推進
 - ※ 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- (3) 普通科を含めた全生徒の**キャリア教育と職業教育**の充実
- (4) 共生社会の実現や**多様な学習ニーズに対応した教育**の推進

10

4 8つの改革の方向性

- (5) スクール・ポリシー※に基づく**各校の魅力化・特色化と効果的な学校運営**の推進
 - ※ 各学校における教育活動の指針となる3つの方針
 - ・ 育成をめざす資質・能力に関する方針
 - ・ 教育課程に関する方針
 - ・ 入学者の受入れに関する方針
- (6) 生徒が生き生きと学ぶことができる**教育環境の整備**
- (7) **地域や企業、教育機関等と連携・協働し**、身近な課題解決を考える学びなどの充実
- (8) **地域の特性に配慮し**、地域の振興に寄与する**高校の在り方や適正配置**の検討

11

5 魅力ある県立高校づくりの推進

【キャリア教育の推進】

- **求められる人材の育成に向けたコース**の拡充・設置
 - 医師・教員・保育士・介護従事者等
- **理数教育拠点校**の設置
- 時代のニーズを踏まえた新たなコースや学び
 - **農業経営者の育成**など
- **工業系コンソーシアム**の活性化
- **起業家精神を有する人材**の育成
- **福祉人材育成のためコンソーシアム**を設置

プランの
ポイント

12

【総合学科】

- 新たに5校程度に設置
 - ・ **STEAM教育**※の導入
 - ・ 幅広い学びのニーズに対応した魅力ある系列
 - ※ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした教科等横断的な学習

【社会のニーズに対応した教育】

- **単位制高校**※を3校程度拡充
 - ・ 進学指導重点校などに**大規模な単位制高校**の設置
 - ※ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校
- **地域連携アクティブスクール**を4校程度拡充
 - ・ 学び直しや実践的なキャリア教育の推進

プランのポイント

13

6 県立高校の適正規模・適正配置

都市部
(第1学区～第3学区)

郡部
(第4学区～第9学区)

14

○適正規模

都市部：1学年あたり **6～8** 学級
郡 部：1学年あたり **4～8** 学級

○適正配置

今後10年で中学校卒業生数が**約6,200人**減少
→ 活力ある教育活動の維持のため **10組程度の統合**を予定

都市部：**多様な学び**への変換
新たなタイプの学校への再編

郡 部：**学校・地域の状況等に配慮**して検討

プランのポイント

15

【パブリックコメントの主な意見】

一定程度の規模は**不可欠**である

郡部については、**地域との十分な話し合い**が必要
過疎地域の特例について検討してほしい

16

Ⅲ 『第1次実施プログラム』について

令和4年10月
第1次実施プログラムを策定

- ・ 県立高校改革推進プランの**具体計画**
- ・ **12の再編項目**について**18校が対象**
- ・ **今後の統合の考え方**を示す

県立高校改革推進プラン
第1次実施プログラム

令和4年10月
千葉県教育委員会

17

第1次実施プログラム

1 既存のコース等の設置拡充概要

(1) 教員基礎コース	国府台・成 東・大多喜
(2) 保育基礎コース	鎌ヶ谷西・土 気
(3) 医療系コース	小見川
(4) グローバルスクール	松戸国際
(5) 福祉コース	船橋豊富
(6) 総合学科	匝 瑠
(7) 地域連携アクティブスクール	行 徳・市 原
(8) 通信制協力校	銚子商業

18

第1次
実施プログラム
概要

2 新たな学びの導入

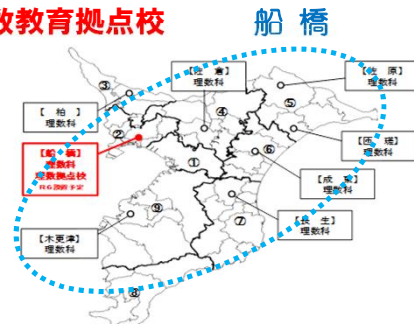
- (1) **農業経営者育成に関するコース**
茂原樟陽
- (2) **起業家育成に関するコース**
千葉商業
- (3) **観光に関するコース**
一宮商業
- (4) **先進ITコース**
袖ヶ浦

19

第1次
実施プログラム
概要

3 連携の推進

(1) 理数教育拠点校

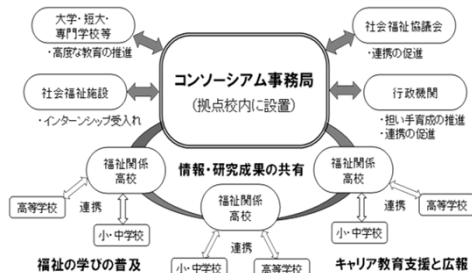


20

第1次
実施プログラム
概要

3 連携の推進

(2) 福祉系コンソーシアム設置 松戸向陽



21

第1次
実施プログラム
概要

4 適正規模・適正配置

今後の統合の基本的な考え方

【都市部】

- 適正規模未満の学校
- 将来適正規模の維持が困難となるが見込まれる学校
- 同じタイプの学校が近接

適正配置を考慮しながら規模を最適化
特色や個性を持った、より魅力ある学校に再編

22

第1次
実施プログラム
概要

4 適正規模・適正配置

【郡 部】

通学の利便性、地元からの進学状況を踏まえ

地域連携協働校を指定

- 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入
- 必要に応じて近隣の高校を協力校に指定することも検討
- … ICTを活用した授業、学校行事や部活動の合同実施

地域連携協働校に指定された高校も含め、
生徒募集において著しく困難が生じる場合は、統合も検討

23

IV 今後の予定

○ 再編対象校

- ・ 各校において校内準備組織を設置
→ プログラム実現に向けた準備を開始
- ・ 県民への周知、PR

「第1次実施プログラム」の推進

○ 全県立高校

- ・ プラン及びスクール・ポリシーに基づき
魅力ある県立高校づくりを推進

○ 適正規模・適正配置について

- ・ 県内各地域で地域協議会を順次設置
→ 地域における県立高校の在り方について意見聴取

「第2次実施プログラム」以降の検討

24

山武地区地域協議会

【基礎資料】

1 山武地区の県立高校6校の現状	2
(1) 地区における学校所在地	2
(2) 県立高校6校について	3
ア 概要（全日制）	3
イ 概要（定時制）	6
ウ 沿革	7
エ 募集学級数の推移	12
(3) 入試の状況	13
(4) 進路の状況（令和4年3月卒業生徒）	13
2 山武地区の現状と今後の見通し	14
(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等	14
ア 地区の公立中学校卒業者と、第6学区の県立高校全日制への進学者数の推移	14
イ 自治体別 公立中学校卒業者の進路先	15
①東金市	15
②山武市	15
③大網白里市	16
④九十九里町	16
⑤横芝光町	17
⑥芝山町	17
⑦地区合計	18
ウ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）	19
(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し	20

【参考】各校の概要・沿革の掲載ページ

校名	概要	沿革
松尾	3	7
成東	3	8
東金【全日制】	4	9
東金商業	4	10
大網	5	9
九十九里	5	11
東金【定時制】	6	9

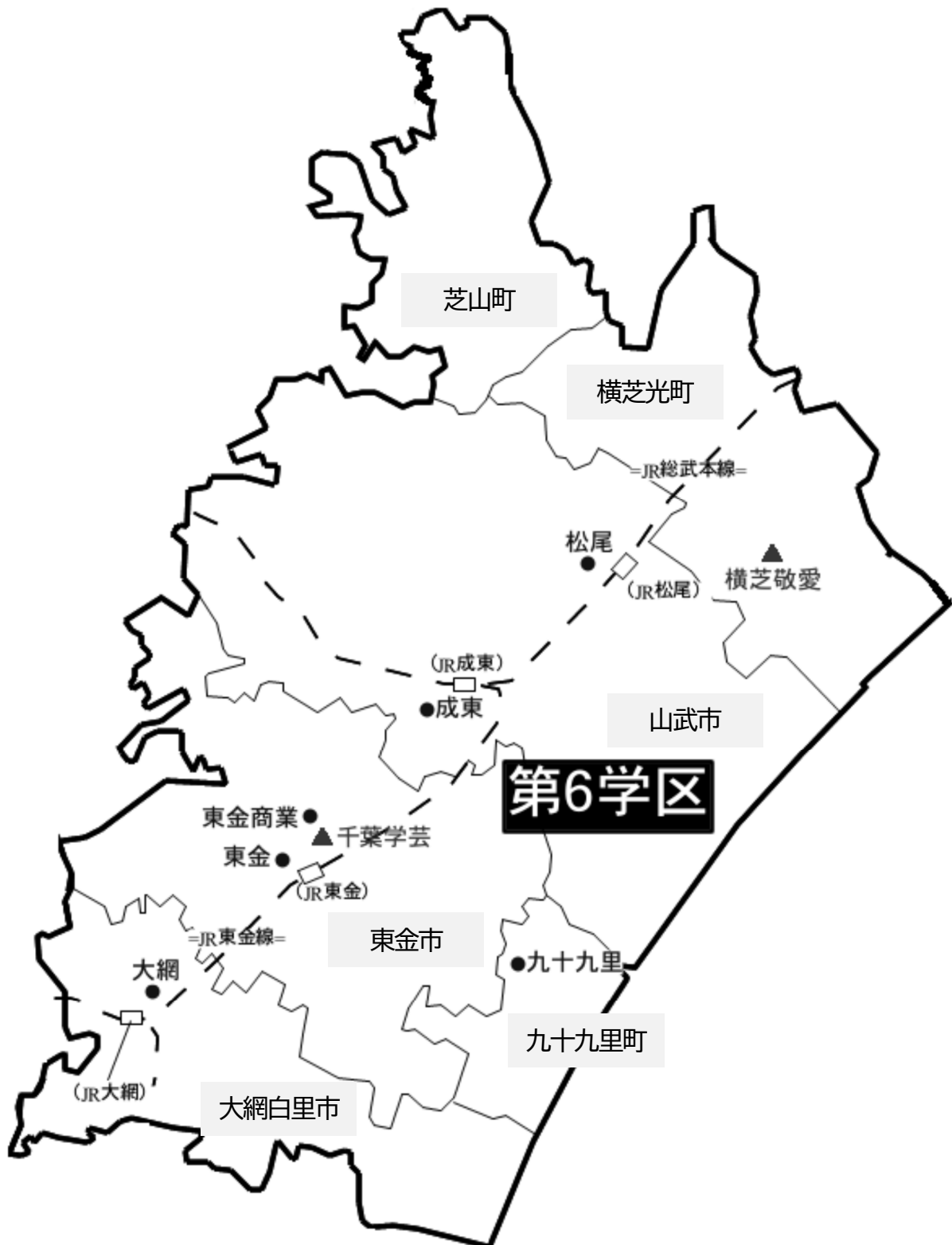
※掲載しているデータは、特別な記載がない限り令和4年度のデータである。

また、確定値ではない場合がある。

1 山武地区の県立高校6校の現状

(1) 地区における学校所在地

●県立高校	松尾	成東	東金	東金商業	大網	九十九里
▲私立高校	横芝敬愛	千葉学芸				



(2) 県立高校6校について

ア 概要(全日制)

学校名	松尾	成東
所在地	山武市松尾町大堤 546	山武市成東 3596
交通手段	JR 総武本線松尾駅 徒歩 10 分	JR 総武本線成東駅 バス 5 分徒歩 3 分
設置年度	明治 42 年	明治 34 年
R4(R5)学年別 学科・学級数	普通 3 (普通 3)	普通 6, 5, 6 理数 1 (普通 6, 6, 5 理数 1)
R 4 全校生徒数	352 (119 . 233)	787 (440 . 347)
1 学年 (男. 女)	120 (38 . 82)	281 (163 . 118)
2 学年 (男. 女)	112 (34 . 78)	236 (135 . 101)
3 学年 (男. 女)	120 (47 . 73)	270 (142 . 128)
居住市町村別 生徒数 (割合)	山武市 98 (27.8%) 匝瑳市 88 (25.0%) 旭市 59 (16.8%) 横芝光町 57 (16.2%) 東金市 26 (7.4%)	東金市 122 (15.5%) 山武市 114 (14.5%) 旭市 113 (14.4%) 大網白里市 90 (11.4%) 八街市 81 (10.3%)
上位 5 自治体		
地区内(第 6 学区) 生徒数 (割合)	196 (55.7%)	413 (52.5%)
部活動-部員数及び 加入率(R3)	運動部 141 文化部 188 加入率 93.5%	運動部 325 文化部 338 加入率 84.2%
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大) 39 (25.3%) 専修学校 49 (31.8%) 職業能力校 0 (0.0%) 就職 42 (27.3%) その他 7 (4.5%)	227 (82.5%) 224 (81.5%) 10 (3.6%) 1 (0.4%) 0 (0.0%) 37 (13.5%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 27 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 56 名 養護教諭 2 名 実習助手 4 名 事務職員 4 名
	合計 34 名	合計 68 名
校地面積	敷地全体 42,715 保有建物 18,355 保有運動場 24,160 実習地他 0 借用地 200	敷地全体 67,130 保有建物 26,653 保有運動場 40,046 実習地他 0 借用地 431
再編歴	H18-共学化 福祉コースを設置 H28-グローバル化に関する学びを導入	H28-単位制導入 R6-普通科に教員基礎コースを設置

学校名	東金	東金商業
所在地	東金市東金 1410	東金市松之郷字久我台 1641-1
交通手段	JR 東金線東金駅 徒歩 10 分	JR 東金線東金駅 バス 8 分(直通あり)
設置年度	明治 41 年	昭和 2 年
R4(R5)学年別 学科・学級数	普通 4 国際教養 1 (普通 4 国際教養 1)	商業科・情報処理科 3, 3, 4 (商業科・情報処理科 3)
R 4 全校生徒数	583 (265 . 318)	374 (174 . 200)
1 学年 (男. 女)	194 (81 . 113)	120 (65 . 55)
2 学年 (男. 女)	194 (90 . 104)	98 (40 . 58)
3 学年 (男. 女)	195 (94 . 101)	156 (69 . 87)
居住市町村別 生徒数 (割合)	東金市 134 (23.0%) 大網白里市 104 (17.8%) 山武市 86 (14.8%) 八街市 47 (8.1%) 千葉市 44 (7.5%)	東金市 151 (40.4%) 山武市 62 (16.6%) 大網白里市 44 (11.8%) 横芝光町 35 (9.4%) 九十九里町 32 (8.6%)
上位 5 自治体		
地区内(第 6 学区) 生徒数 (割合)	382 (65.5%)	328 (87.7%)
部活動・部員数及び 加入率(R3)	運動部 243 文化部 149 加入率 67.2%	運動部 116 文化部 146 加入率 70.1%
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大) 150 (76.5%) 140 (71.4%) 専修学校 25 (12.8%) 職業能力校 2 (1.0%) 就職 10 (5.1%) その他 9 (4.6%)	39 (25.3%) 35 (22.7%) 66 (42.9%) 0 (0.0%) 41 (26.6%) 8 (5.2%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 36 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 4 名 合計 44 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 28 名 養護教諭 1 名 実習助手 3 名 事務職員 3 名 合計 37 名
校地面積	敷地全体 45,645 保有建物 17,288 保有運動場 28,178 実習地他 0 借用地 179	敷地全体 61,574 保有建物 19,837 保有運動場 20,771 実習地他 19,677 借用地 1,289
再編歴	H8-国際教養科設置	

学校名	大網	九十九里
所在地	大網白里市大網 435-1	九十九里町片貝 1910
交通手段	JR 外房線大網駅 徒歩 13 分	JR 東金線東金駅 バス 20 分徒歩 5 分
設置年度	平成 20 年	昭和 48 年
R4(R5)学年別 学科・学級数	普通 1 農業 1 食品科学 1 生物工学 1 (普通 1 農業 1 食品科学 1 生物工学 1)	普通 3 (普通 3)
R 4 全校生徒数	433 (194 . 239)	134 (78 . 56)
1 学年 (男.女)	149 (62 . 87)	45 (29 . 16)
2 学年 (男.女)	140 (58 . 82)	46 (21 . 25)
3 学年 (男.女)	144 (74 . 70)	43 (28 . 15)
居住市町村別 生徒数 (割合)	千葉市 121 (27.9%) 大網白里市 99 (22.9%) 東金市 88 (20.3%) 茂原市 36 (8.3%) 山武市 17 (3.9%)	東金市 62 (46.3%) 九十九里町 28 (20.9%) 山武市 21 (15.7%) 大網白里市 9 (6.7%) 白子町 4 (3.0%)
上位 5 自治体		
地区内(第 6 学区) 生徒数 (割合)	217 (50.1%)	121 (90.3%)
部活動-部員数及び 加入率(R3)	運動部 91 文化部 99 加入率 43.9%	運動部 36 文化部 83 加入率 88.8%
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大) 32 (17.6%) 22 (12.1%) 専修学校 53 (29.1%) 職業能力校 2 (1.1%) 就職 82 (45.1%) その他 13 (7.1%)	7 (13.0%) 7 (13.0%) 11 (20.4%) 5 (9.3%) 28 (51.9%) 3 (5.6%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 39 名 養護教諭 1 名 実習助手 11 名 事務職員 4 名 技能員等 2 名 合計 59 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 27 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名 合計 34 名
校地面積	敷地全体 190,881 保有建物 39,592 保有運動場 17,982 実習地他 133,248 借用地 59	敷地全体 47,885 保有建物 9,935 保有運動場 37,950 実習地他 0 借用地 0
再編歴	H25-食品・生物工学の中心校 H30-農業学科再構成	H6-ビジネス基礎コース、生活デザインコース 設置

イ 概要（定時制）

学校名		東金（定時制）	
所在地		東金市東金 1410	
交通手段		JR 東金線東金駅 徒歩 8 分	
設置年度		定時制設置 昭和 25 年	
学年別 学科・学級数		【R4】普通 1 【R5】普通 1	
R 4 全校生徒数		41	（ 27 . 14 ）
1 学年（男. 女）		6	（ 4 . 2 ）
2 学年（男. 女）		9	（ 4 . 5 ）
3 学年（男. 女）		15	（ 10 . 5 ）
4 学年（男. 女）		11	（ 9 2 ）
居住市町村別 生徒数（割合）		東金市 20（ 48.8% ） 八街市 10（ 24.4% ） 大網白里・山武 各 5（ 各 12.2% ） 上位 5 自治体 九十九里町 1（ 2.4% ）	
地区内(第 6 学区) 生徒数（割合）		31（ 75.6% ）	
部活動・部員数及び 加入率(R3)		運動部 18 文化部 0 加入率 43.9%	
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち4年大)	0	（ 0.0% ）
	専修学校	0	（ 0.0% ）
	職業能力校	1	（ 7.1% ）
	就職	0	（ 0.0% ）
	その他	5	（ 35.7% ）
		8	（ 57.1% ）
教職員数 (本務者)		教頭 1 名 教諭等 8 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名	
		合計 11 名	
校地面積		敷 地 全 体	45,645
		保 有 建 物	17,288
		保有運動場	28,178
		実 習 地 他	0
		借 用 地	179
再編歴			

ウ 沿革

各校の令和4年度学校要覧より抜粋

松尾					
明治 42	6.26	千葉県山武郡立松尾実業学校設立認可	平成 30	1	キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰受賞
明治 42	9.11	元松尾小学校を校舎として授業開始	令和 2	4	「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」アソシエイト指定 総合教育センター研究事業 「高等学校における探究活動に関する研究」協力校(令和3年度まで)
大正 9	4.1	郡立大綱工芸学校を合併			
	4.8	高等女学校令に基づき千葉県山武実科高等女学校設立認可され、千葉県山武郡立女子実業学校と併置し4月10日開校(創立記念日)			
大正 13	2.22	千葉県山武実科高等女学校を4月より県立に移管し、千葉県立山武実科高等女学校と改称の件認可	11.2		千葉県教育功労者表彰 (学校教育の部 団体の部)
昭和 7	4	同窓会施設として研究科設置	令和 3	4	クリーンメイトセンター松尾開設
昭和 10	4	千葉県立松尾高等女学校と改称の件認可	令和 4	4	コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)の設置
昭和 23	4.1	学制改革により千葉県立松尾高等学校となり定時制課程を併設			
昭和 26	4	定時制課程普通科二川分校設置			
昭和 31	4.1	二川分校を芝山分校と改称			
昭和 35	4.1	芝山分校生徒募集停止			
昭和 37	11.2	創立 50 周年記念式典挙行			
昭和 38	3.31	芝山分校廃止			
昭和 47	11.22	創立 60 周年、新校舎落成記念式典挙行			
昭和 59	11.6	創立 75 周年記念式典挙行			
昭和 64	4.1	制服の変更			
平成 5	4.1	家政科 2 学級を生活デザイン科 1 学級に学科改編			
平成 11	11.6	創立 90 周年記念式典挙行			
平成 16	4.1	生活デザイン科募集停止			
平成 18	4.1	男女共学を開始 福祉コース設置			
平成 21	11.24	創立 100 周年記念式典挙行			
平成 27	4	文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール (SGH)の指定			
平成 28	4	グローバル化に関する学びの導入、県より英語教育拠点校の指定			
右上に続く					

成東			
明治 33	2. 2	千葉県山武郡成東町に千葉県佐倉中学校成東分校設置の件達せされる。	昭和 55 11. 12 創立 80 周年記念式典挙行。
	4. 8	仮校舎成東町湯坂法宣寺で入学式を挙げ、翌 9 日より授業開始。	平成 2 11. 2 創立 90 周年記念式典挙行。
	9. 1	校旗制定式を挙行。	平成 12 11. 9 創立 100 周年記念式典挙行。
明治 34	4. 13	分校の組織を改め本校とし、千葉県成東中学校と改称。	平成 19 3. 22 新制服の制定を決定。
	5. 12	開校式挙行。	平成 22 11. 13 創立 110 周年記念式典挙行。
	5. 17	千葉県立成東中学校と改称。	平 28 4. 1 単位制に移行。
明治 35	5. 12	開校記念式典挙行。これよりこの日を創立記念日と定む。	令和 2 11. 7 創立 120 周年記念式典挙行(オンライン)
明治 39	8. 5	第 1 回同窓会を成東館にて開く。以降毎年 8 月の第 1 日曜をもって同窓会日と定む。	
明治 43	5. 12	創立 10 周年記念式典挙行。	
大正 10	11. 26	創立 20 周年記念式典挙行。	
昭和 5	4. 17	創立 30 周年記念式典挙行。	
昭和 15	11. 24	創立 40 周年記念式典挙行。	
昭和 22	4. 1	学制変更にともない第 2, 3 学年は千葉県立成東中学校併設中学校の生徒となる。	
昭和 23	4. 1	千葉県立成東高等学校として新発足。第 1 学年 8 学級。	
	7. 12	定時制 1 学級が併設。	
昭和 24	3. 31	千葉県立成東中学校、並びに同校併設中学校廃止。	
昭和 25	11. 2	創立 50 周年記念式典挙行。	
昭和 26	4. 3	緑海分校(定時制)開校。	
昭和 31	1. 8	創立 55 周年記念式典挙行。	
昭和 34	3. 7	定時制最後の卒業生を送る。	
昭和 37	11. 30	創立 60 周年記念式典挙行。	
昭和 40	3. 8	緑海分校(定時制)の最後の卒業生を送る。	
昭和 46	5. 12	創立 70 周年記念式典挙行。	
右上に続く			

東金			大網		
明治 41	4.14	千葉県立東金高等女学校認可	大正 9	12.1	千葉県山武農学校(郡立)設立許可
	4.30	開校 旧山武郡立染織学校校舎を仮校舎に充てる。	昭和 23	4.1	新学制実施により千葉県立山武農業高等学校として許可
昭和 23	4.1	学制改革により旧称改め、県立東金高等学校として開校式を挙行	昭和 26	4.7	町立白里中学校を仮校舎として千葉県立東金高等学校定時制白里分校を創立
	8.1	山武郡片貝町立片貝女子農学校(昭和 10 年創立)を分校(定時制)として併設	昭和 46	4.1	千葉県立白里高等学校として独立
昭和 25	4.1	高等学校再編成により東金商業高等学校を合併	平成 20	4.1	千葉県立山武農業高校と千葉県立白里高校が統合し、千葉県立大網高等学校となる
	4.1	本校に定時制夜間普通科を新設	平成 29	3.31	生産技術科、食品工業科、農業経済科、学科名改編のため募集停止
昭和 26	3	大網白里町白里に分校設置認可 4 月開校	平成 30	4.1	生産技術科と農業経済科を統合し、農業科 1 学級募集、食品工業科を食品科学科と科名変更し、1 学級募集
昭和 28	4.1	商業科分離独立して東金商業高等学校となる。			
昭和 38	4.1	白里校舎を本校より分離し、東金商業高等学校白里校舎となる。			
昭和 48	4.1	片貝校舎が分離独立して九十九里高等学校となる。			
昭和 49	9.27	創立 66 周年記念式典挙行 東金高校の歴史第 1 巻(明治編) 別巻(回想録)発行			
昭和 55	3.10	東金高校の歴史第 2 巻(大正編)発行			
平成 5	11.9	創立 85 周年記念式典挙行、創立 85 年史発行			
平成 8	4.1	全日制国際教養科 1 学級新設			
平成 20	11.14	創立百周年記念館完成			
平成 21	3.1	創立百周年記念誌発行			

東金商業					
昭和 2	3.25	東金町立東金公民学校設立認可	平成 20	4.1	文部科学省教育開発研究校指定 (3 年間)
昭和 7	4.1	農会立東金家政女学校設立認可	平成 21	3.13	平成 20 年度千葉県教育委員会 『魅力ある高等学校づくり大賞』 受賞
昭和 10	6.28	実業学校令による東金実業学校設立 認可	平成 22	3.19	平成 21 年度千葉県教育委員会 『魅力ある高等学校づくり大賞』 「一校 1 キラッ！」部門優秀賞受賞
昭和 12	4.1	町立移管、千葉県東金高等家政女学校 となる。	11.1		平成 22 年度千葉県教育功労賞 団体の部受賞
昭和 17	2.11	甲種実業学校昇格	11.9		東金市政功労賞受賞
昭和 19	4.1	東金町立千葉県東金女子商業学校 設立認可	平成 23	2.7	平成 22 年度千葉県教育委員会 『魅力ある高等学校づくり大賞』 優秀賞受賞
昭和 23	4.1	学制改革により東金実業学校および 東金女子商業学校を合併し、東金町立 東金商業高等学校設立認可、男女共学 実施	平成 24	1.26	平成 23 年度キャリア教育優良教育委 員会、学校及び P T A 団体等文部科学 大臣表彰受賞
昭和 25	5.1	学制改革により、千葉県立東金高等学 校商業課程として新発足 (5 月 1 日を創立記念日と定める。)	2.6		平成 23 年度千葉県教育委員会 『魅力ある高等学校づくり大賞』 優秀賞受賞
昭和 28	4.1	千葉県立東金商業高等学校として 独立、新しい歴史を拓く	4.1		平成 24 年度知的財産に関する創造 力・実践力・活用力開発事業指定校 (1 年間)
昭和 33	10.30	創立 30 周年記念式典を挙行	平成 25	2.25	平成 24 年度千葉県教育委員会 『魅力ある高等学校づくり大賞』 優秀賞受賞
昭和 38	4.1	千葉県立東金高等学校白里校舎が 本校の所管となり、全日制商業科を新設	4.1		平成 25 年度学習指導実践研究協力校 事業指定校 (1 年間)
昭和 46	4.1	白里校舎独立、千葉県立白里高等学校 となる	平成 26	4.1	くくり募集実施 商業・情報処理科
昭和 53	11.22	創立 50 周年記念式典を挙行	平成 29	11.28	創立 90 周年記念式典挙行
平成 2	3.8	久我賞第 1 回授与式(同窓会)			
平成 4	4.1	制服制定			
平成 5	4.1	情報処理科開設			
平成 15	3.3	千葉県教育委員会「教育奨励賞」受賞			
	4.1	文部科学省研究指定「学力向上フロン ティアハイスクール」(3 年間)			
平成 16	4.1	魅力ある高等学校づくりチャレンジ 支援事業「生命を大切に作る心を育て る事業」(3 年間)、 「総合的な学習」(インターシッ プ等)開始			
平成 17	4.1	新制服制定			
平成 19	11.14	創立 80 周年記念式典挙行			
右上に続く					

九十九里		
大正 8	4	片貝村立片貝実業補習学校 片貝小学校に併設開校
大正 15	8	青年訓練所設置法で男子は之に包含、 女子のみ存続
昭和 10	4.	片貝町立実科女学校となる (甲種実業学校)
昭和 18	4	片貝町立片貝女子農業学校と改称
昭和 23	7	方貝町立片貝女子農業学校廃校 千葉県立東金高等学校片貝分校設置
昭和 37	4	千葉県立東金高等学校片貝校舎と 改称
昭和 48	4.1	千葉県立九十九里高等学校となり 第 1 学年普通科 1 学級、家庭科 2 学級となる
昭和 49	5.29	独立式典挙行
昭和 57	11.27	創立 65 周年独立 10 周年記念式典挙行
昭和 59	11.10	千葉県学校環境緑化コンクール受賞
昭和 60	5.12	全日本学校環境緑化コンクール受賞
平成 2	4.1	特色ある学校づくり推進校指定 (千葉県・H2～4 年度)
平成 3	4.1	奉仕等体験学習研究推進校指定 (文部省・H3～4 年度)
平成 4	11.20	創立 20 周年記念式典挙行
平成 5	2.15	ライトブルー少年賞受賞
平成 5	11.1	平成 5 年度教育功労者(団体の部) 受賞
平成 6	4.1	学科改編による生活デザインコース、 ビジネス基礎コースの履修開始
平成 7	3.8	家政科最後の 45 名卒業
平成 14	11.21	創立 30 周年記念行事実施
平成 28	4.1	福祉教育推進校指定 (H28～30 年度) 青少年赤十字研究推進校指定 (H28～30 年度) コミュニティ・スクール導入に向けて 実践研究(H28～29 年度)
平成 30	4.1	コミュニティ・スクールとなる (学校運営協議会設置)

工 募集学級数の推移

課程	学校名	学科名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 日 制	松尾	普 通	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3
	成東	普 通	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6
		理 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	東金	普 通	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
		国 際 教 養	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	東金商業	商 業	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2
		情 報 処 理	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	大網	普 通	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
		農 業					1	1	1	1	1	1
		生 産 技 術	1	1	1	1	H30年度、農業科へ学科再構成					
		農 業 経 済	1	1	1	1	H30年度、農業科へ学科再構成					
		食 品 科 学					1	1	1	1	1	1
		食 品 工 業	1	1	1	1	H30年度、食品科学科へ学科再構成					
		生 物 工 学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	九十九里	普 通	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	合 計		31	30	30	30	28	28	26	24	25	25
定 時 制	東金	普 通	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	合 計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※郡部における適正規模の下限である4学級に学校全体で満たない年度のセルを灰色にしている。(全日制のみ)

【参考】県立大網高校における学科再構成

「県立学校改革推進プラン」「第3次実施プログラム」に基づき、平成30年度に農業に関する学科の学科再構成を実施している。

再構成前	→	再構成後
生産技術科	} →	農業科
農業経済科		
食品工業科	→	食品科学科
生物工学科	→	(変更なし)

(3) 入試の状況

学校名	学科名	令和3年度入学者選抜					令和4年度入学者選抜					令和5年度入学者選抜				
		定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率
松尾	普通	120	112	0.93	112	93%	120	138	1.15	120	100%	120	105	0.88	106	88%
成東	普通	200	228	1.14	200	100%	240	277	1.15	241	100%	240	235	0.98	240	100%
	理数	40	41	1.03	40	100%	40	46	1.15	40	100%	40	24	0.60	26	65%
東金 【全日制】	普通	160	163	1.02	160	100%	160	161	1.01	160	100%	160	187	1.17	160	100%
	国際教養	40	33	0.83	35	88%	40	33	0.83	34	85%	40	38	0.95	40	100%
東金商業	商業・情報処理	120	98	0.82	99	83%	120	130	1.08	120	100%	120	92	0.77	95	79%
大網	普通	40	35	0.88	34	85%	40	44	1.10	40	100%	40	41	1.03	40	100%
	農業	40	38	0.95	40	100%	40	32	0.80	31	78%	40	37	0.93	36	90%
	食品科学	40	43	1.08	40	100%	40	38	0.95	39	98%	40	33	0.83	33	83%
	生物工学	40	36	0.90	36	90%	40	36	0.90	37	93%	40	28	0.70	28	70%
九十九里	普通	120	48	0.40	49	41%	120	43	0.36	46	38%	120	46	0.38	47	39%
東金 【定時制】	普通	40	7	0.18	8	20%	40	4	0.10	6	15%	40	6	0.15	6	15%

1. 定員：第1学年募集定員(40名×募集学級数)
2. 許可候補者数：一般入学者選抜、2次募集(定員を満たさなかった場合に行われる選抜)等で入学許可候補者となった者の数
3. 充足率：定員に対する入学許可候補者数であり、入学許可候補者数÷定員×100で算出した

※ 東金商業高校の「商業科」、「情報処理科」では、くくり募集を行っている。

(4) 進路の状況 (令和4年3月卒業生徒)

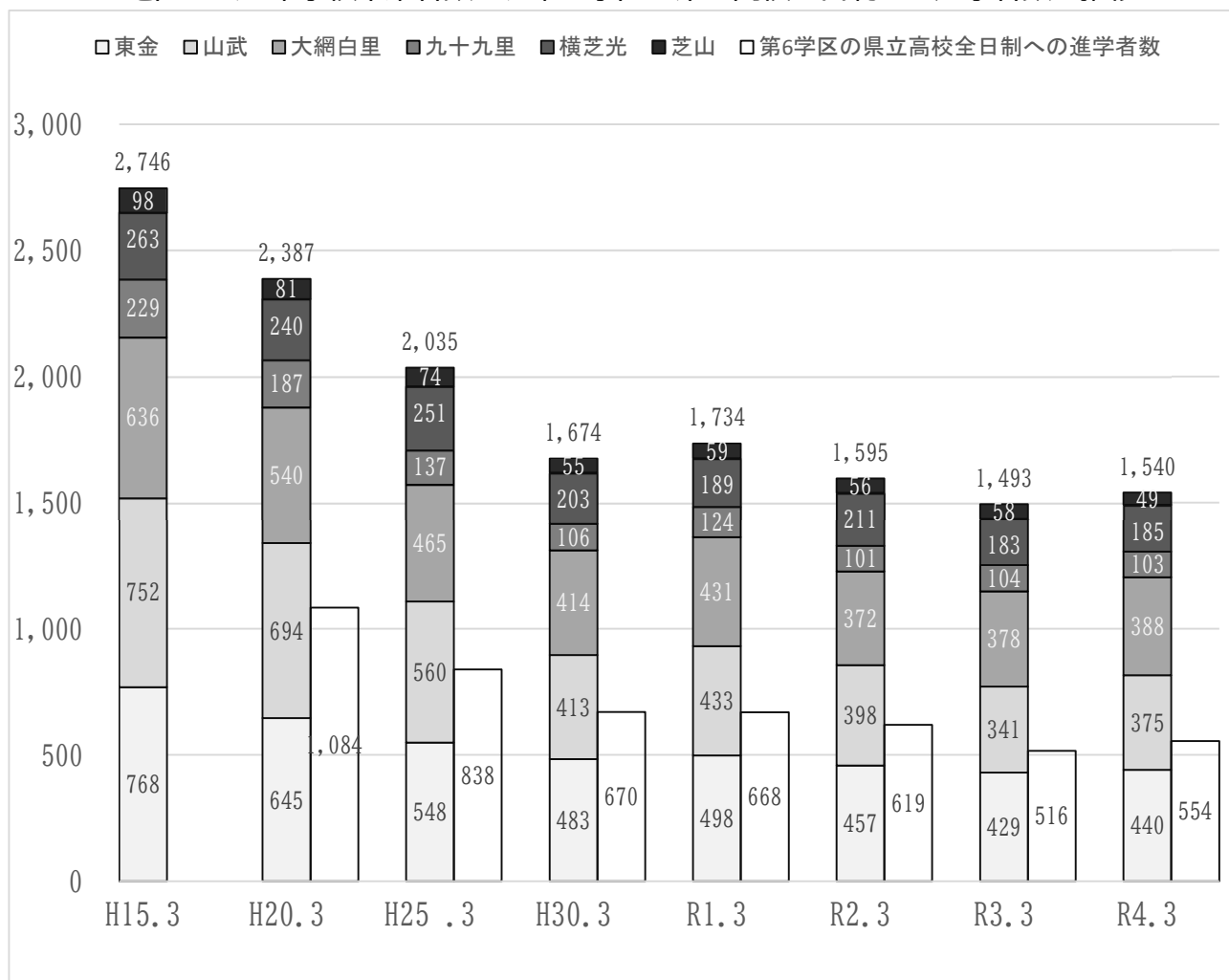
学 校 名	松 尾	成 東	東 金 【全日制】	東金商業	大 網	九十九里	東 金 【定時制】
大学進学	56	227	150	39	32	7	0
(うち4年大)	39	224	140	35	22	7	0
専修学校	49	10	25	66	53	11	1
職業能力校	0	1	2	0	2	5	0
就職	42	0	10	41	82	28	5
その他	7	37	9	8	13	3	8
卒業者計	154	275	196	154	182	54	14

出典：令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて算出

2 山武地区の現状と今後の見通し

(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等

ア 地区の公立中学校卒業生数と、第6学区の県立高校全日制への進学者数の推移



	H15.3	H20.3	H25.3	H30.3	R1.3	R2.3	R3.3	R4.3
東 金 市	768	645	548	483	498	457	429	440
山 武 市	752	694	560	413	433	398	341	375
大網白里市	636	540	465	414	431	372	378	388
九十九里町	229	187	137	106	124	101	104	103
横芝光町	263	240	251	203	189	211	183	185
芝 山 町	98	81	74	55	59	56	58	49
合 計	2,746	2,387	2,035	1,674	1,734	1,595	1,493	1,540
進 学 者		1,084	838	670	668	619	516	554

※ H15.3の山武市には、成東町、山武町、蓮沼村、松尾町を合算した値が記載されている。

※ H15.3の横芝光町は、横芝町、光町を合算した値が記載されている。

※ H15.3の進学者数はデータが存在しないため、掲載していない。

出典：中学校卒業生数は令和4年12月公表の学校基本調査（文部科学省）より、進学者数は、進路状況調査を基に教育政策課にて算出。ともに公立中学校からの卒業生、進学者の数である。

イ 自治体別 公立中学校卒業者の進路先

①東金市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	406	92.3%
うち公立	296	67.3%
うち私立	110	25.0%
高校【定時制】	3	0.7%
高校【通信制】	13	3.0%
高等専門学校	1	0.2%
特別支援学校	7	1.6%
県外へ進学	6	1.4%
進学以外	4	0.9%
合計	440	100.0%

全日制公立高校進学者 296名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	61	20.6%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	8	2.7%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	3	1.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	197	66.6%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	27	9.1%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		296	100.0%

②山武市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	351	93.6%
うち公立	254	67.7%
うち私立	97	25.9%
高校【定時制】	5	1.3%
高校【通信制】	8	2.1%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	4	1.1%
県外へ進学	6	1.6%
進学以外	1	0.3%
合計	375	100.0%

全日制公立高校進学者 254名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	20	7.9%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	2	0.8%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	63	24.8%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	30	11.8%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	135	53.1%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	4	1.6%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		254	100.0%

③大網白里市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	350	90.2%
うち公立	254	65.5%
うち私立	96	24.7%
高校【定時制】	2	0.5%
高校【通信制】	16	4.1%
高等専門学校	3	0.8%
特別支援学校	6	1.5%
県外へ進学	9	2.3%
進学以外	2	0.5%
合計	388	100.0%

全日制公立高校進学者 254 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	84	33.1%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	8	3.1%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	2	0.8%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	1	0.4%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	121	47.6%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	38	15.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		254	100.0%

④九十九里町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	95	92.2%
うち公立	68	66.0%
うち私立	27	26.2%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	1	1.0%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	1	1.0%
県外へ進学	5	4.9%
進学以外	1	1.0%
合計	103	100.0%

全日制公立高校進学者 68 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	7	10.3%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	2	2.9%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	3	4.4%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	2	2.9%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	47	69.1%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	7	10.3%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		68	100.0%

⑤横芝光町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	164	88.6%
うち公立	102	55.1%
うち私立	62	33.5%
高校【定時制】	4	2.2%
高校【通信制】	5	2.7%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	1	0.5%
県外へ進学	7	3.8%
進学以外	4	2.2%
合計	185	100.0%

全日制公立高校進学者 102 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	6	5.9%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	8	7.8%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	39	38.2%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	49	48.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		102	100.0%

⑥芝山町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	46	93.9%
うち公立	31	63.3%
うち私立	15	30.6%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	2	4.1%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	0	0.0%
進学以外	1	2.0%
合計	49	100.0%

全日制公立高校進学者 31 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	1	3.2%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	19	61.3%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	6	19.4%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	5	16.1%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		31	100.0%

⑦地区合計

中学校卒業者の進路先

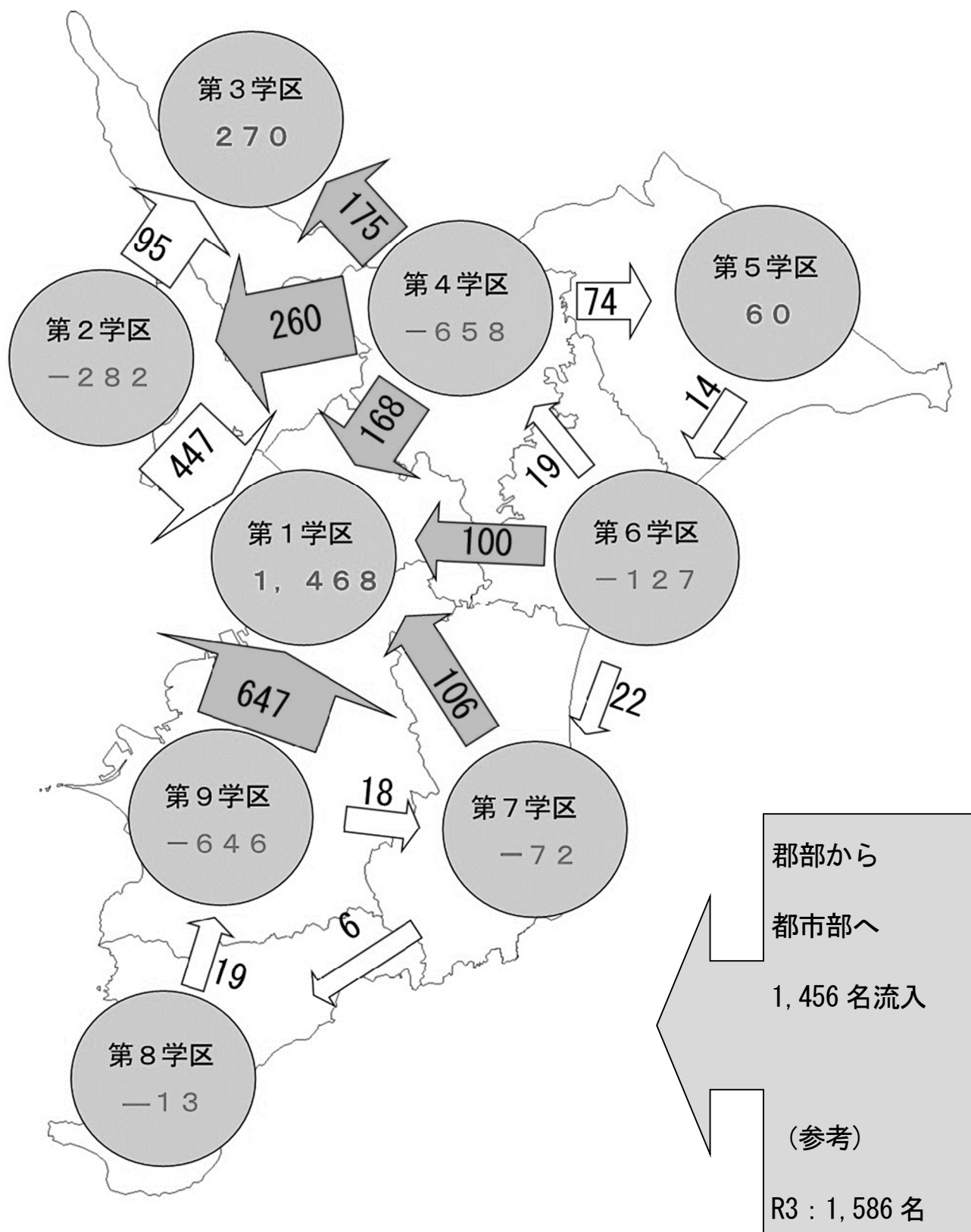
進路先	人数	割合
高校【全日制】	1,412	91.7%
うち公立	1,005	65.3%
うち私立	407	26.4%
高校【定時制】	14	0.9%
高校【通信制】	45	2.9%
高等専門学校	4	0.3%
特別支援学校	19	1.2%
県外へ進学	33	2.1%
進学以外	13	0.8%
合計	1,540	100.0%

全日制公立高校進学者 1,005 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	178	17.7%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	13	1.3%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	2	0.2%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	102	10.1%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	80	8.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	554	55.1%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	76	7.6%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		1,005	100.0%

出典:令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて作成

ウ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）



○県内全日制公立高校について、学区間の生徒の流れを
流入と流出の差で示した。

○郡部から都市部への流入については灰色で示している。

出典：教育政策課調べ

(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し

現在の学年 卒業年月	中3 R6.3	中2 R7.3	中1 R8.3	小6 R9.3	小5 R10.3	小4 R11.3	小3 R12.3	小2 R13.3	小1 R14.3	5歳 R15.3
東 金 市	405	441	424	408	424	401	415	368	330	356
山 武 市	330	318	329	305	262	295	264	299	238	218
大網白里市	369	381	384	369	294	335	347	314	281	265
九十九里町	107	90	74	90	75	75	70	70	56	53
横 芝 光 町	193	174	158	174	161	170	160	144	159	145
芝 山 町	60	44	44	47	53	27	47	43	35	36
合 計	1,464	1,448	1,413	1,393	1,269	1,303	1,303	1,238	1,099	1,073

出典：学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

